

## 自然災害発生時の対応について

山梨県小中学校体育連盟陸上競技専門部

会場：JITリサイクルインクスタジアム

楡形総合公園陸上競技場・周回コース

### 1. 台風接近・記録的な豪雨（警報発令）に伴う申し合わせ事項

大会期間中に、台風が接近または直撃した場合は、以下のこととする事がある。

- (1) 競技者・競技役員を第一優先として考える。
- (2) 実施不可能と判断した場合、大会の延期または中止とすることがある。
- (3) 危険な種目（棒高跳び・走り高跳び等）については、延期または中止も考える。
- (4) 場合によっては、タイム決勝とすることがある。
- (5) タイムテーブルを変更することがある。
- (6) 雷雨の場合は、競技を中断することがある。
- (7) テント・横断幕・登りの設置は行わない。（風雨のため危険であるため）
- (8) ウォーミングアップは、スタジアム雨天走路、バックスタンド2階コンコースとする。（JITスタジアム）

### 2. 停電に伴う申し合わせ事項

大会期間中に、停電が発生した場合は、以下のこととする。

- (1) 大会中に停電が起きた場合は、競技を中断することがある。
- (2) 競技中に停電が起きた場合は、再レースすることがある。  
（電気計時のみ公認記録となるため）
- (3) 大会中に停電が起きた場合は、自家発電に切り替えて競技を行うことがある。

### 3. 雷による対応

- (1) 雷発生時は、安全上の配慮を最優先し、雷鳴が聞こえた時点で直ちに競技を中断する。競技を中断させるために、アナウンサーによる緊急放送とともに役員により選手に対して競技中断を指示する。
- (2) 競技の再開が困難と大会本部で判断した場合は中止または延期とする。
- (3) その他詳細は「行事の開催における落雷事故の防止について」による。

### 4. 地震による対応

- (1) 緊急地震速報を伴わない地震の発生では、走路の亀裂や倒木等、競技に支障を及ぼすような被害がなければ競技を継続する。
- (2) 緊急地震速報が発表された場合は、安全上の配慮を最優先し直ちに競技を中断する。競技を中断させるために、アナウンサーによる緊急放送とともに役員により選手に対して競技中断を指示する。
- (3) 競技の再開が困難と大会本部で判断した場合は中止または延期とする。
- (4) 競技を再開する場合は、次の点を考慮して大会本部が決定する。
  - ① 余震の恐れがない
  - ② 走路のひび割れや倒木等、競技運営に支障がない。

## 5. 降雪による対応

前日から当日朝までに積雪があり、予定通りの競技が不可能と判断した場合は、大会実行委員会が大会当日に実施態度を決定し、大会を延期または中止することもある。

## 6. 全国瞬時警報システム（Jアラート）による対応

警報が鳴った時点で安全上の配慮を優先し、直ちに競技を中断させる。競技を中断させるために、アナウンサーによる緊急放送とともに役員により選手・観戦者に対して競技中断と避難を指示する。各校監督・引率者は選手をはじめ、生徒の掌握に務め自校の控え場所近くの建物に避難させる。競技開始が可能な場合は、アナウンス等を通じて競技を再開する。

参考：政府からのJアラートによる情報伝達

- ① 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断した場合に、まず、弾道ミサイルが発射された旨の情報を伝達し、避難を呼びかけます。屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難してください。
- ② その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合には、続報として直ちに避難することを呼びかけます。屋外にいる場合には、直ちに近くの頑丈な建物や地下に避難してください。また、近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守ってください。なお、屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。
- ③ その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合には落下場所等についてお知らせします。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。